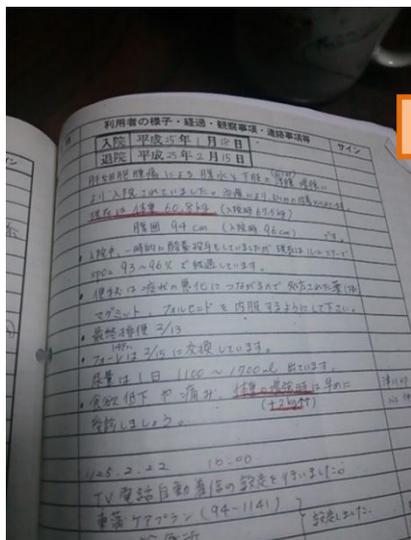


# 阿賀町における連携ノートの活用

～地域で生活する人を支えるための情報共有ファイル～

- ・ 介護保険サービス利用者が使用
- ・ 阿賀町独自の情報交換ノート
- ・ 利用者に関わるスタッフと家族で情報を共有（もちろん、利用者本人も参加！）
- ・ 必要に応じて医療情報を添付



- ・ 状態の変化をケアスタッフで共有、確認できる。
- ・ 検討会を開くきっかけが得やすい。
- ・ 状況の変化に応じた対応がとりやすい。

限りあるサービスの中で利用者をどう支えるか。その一翼を担うのが連携ノートではないか。

連携ノートをとおして、本人への気づきを大切に、住み慣れた地域で生活することを支援したい。

## 地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	阿賀町
②人口（※1）	13,091人 ( )
③高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	41.43% 65歳以上 ( ) 26.52% 75歳以上
① 取組の概要	連携ノート（地域で生活する人を支えるための情報共有ファイル）を用いて情報の共有化を図り、サービスの質の向上を目指す。
⑤取組の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携ノートを町が発行</li> <li>・在宅介護保険事業所が参加し、医療機関とも連携</li> <li>・取り扱いを適宜協議する</li> </ul>
⑥開始年度	平成25年度（※今年度より内容を改定して実施）
⑦取組のこれまでの経緯	平成15年度より町内介護保険事業所と医療機関と協力して連携ノートをスタート。昨年、検討会を設け内容や取り扱いの見直しを行った。
⑧主な利用者と人数	在宅介護サービス利用者と家族
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	町内介護保険事業所、町内医療機関
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	ノートの交付、ノートの活用に関する会議の開催 地域支援事業（任意事業）：100,000円
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	
⑫取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模多機能型居宅介護での取り扱いが検討中</li> <li>・介護保険事業所ではスタッフの異動等あるため、活用に対する意義の浸透に時間がかかる。</li> </ul>
⑬今後の取組予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜、検討会の実施</li> <li>・地域包括ケアシステムとしての位置づけの確立</li> </ul>
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	阿賀町地域包括支援センター 0254-92-3986

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。